

人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち 丹波高原文化の郷 ●京丹波

# 京丹波

No.40  
2009年  
2月13日発行

文化財の保護を目指して

特集① 民生児童委員

特集② 健診で健康チェック



# 民生児童委員

複雑多岐にわたる福祉活動の相談役として、地域住民の立場に立つて活動する「民生児童委員」。今回は、地域のみなさんを見守り、そして必要に応じた援助をされている民生児童委員の活動について特集します。



今月の表紙

1月25日、京丹波町消防団丹波支団と和知支団が文化財防火デーの取り組みの一環として、玉雲寺(市森)と九手神社(豊田)、明隆寺観音堂(下粟野)で放水訓練を実施しました。玉雲寺で行われた放水訓練では、付近の山林が火災との想定のもと、出動した団員らの迅速で的確な消火活動が繰り返されていました。

## 民生児童委員とは

民生児童委員(以下「委員」)は、民生委員と児童委員の二つの役割を担っており、それぞれの法律に基づいて活動をされています。

民生委員の役割は、民生委員法で「社会奉仕の精神を持って、常に住民の立場で相談に応じるとともに、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努めること」と示されており、民間の奉仕者として市区町村の区域毎に配置されています。

また、児童委員の役割は、児童福祉法で「住民の立場に立つて、住民との信頼関係の中で子どもや子育て家庭への支援活動を行うこと」と示され、同法によって民生委員が兼務することになっています。

なお、地域に密着した活動を行う同委員

## 「自主性」「奉仕性」「地域性」が委員としての心構え

福祉の相談や援助といっても、相談相手によつてさまざまなケースがあります。そのため、委員は、地域のみなさんがそれぞれの状況に応じて自立した生活が送れるように、「自主性」「奉仕性」「地域性」の三つを基本姿勢として活動を展開されています。

### 【基本姿勢】

- ①「自主性」…常に住民の立場に立ち、地域のボランティアとして、自発的・主体的な活動を行う。
- ②「奉仕性」…誠意をもって地域住民と接するとともに、無報酬で活動する。また、積極的に関係行政機関の業務に協力する。
- ③「地域性」…一定の地域社会(担当地域)を基盤として、適切な活動を行う。

## 地域住民を支える福祉制度のパートナー

委員は、社会福祉の増進と子育て家庭への支援を行うために、地域や各家庭の実情、実態などを把握しておく必要があります。そのため、日ごろから地域に密着した活動を展開し、地域のみなさんとの信頼関係を築き、身近な相談役としての役割を果たされています。

なお、それぞれの委員の職務は次のとお

は、厚生労働大臣から三年の任期で委嘱されます。

## 区域担当の「民生・児童委員」と「児童福祉専門の主任児童委員」

委員には、担当区域を受け持つ地域社会のさまざまな福祉問題に対応する「民生・児童委員」と、地域の児童福祉問題を専門的に担当する「主任児童委員」があります。

主任児童委員は、児童福祉法に基づいて児童委員の中から指名されますが、それぞれの委員で身分や任期などに違いはなく、役割に応じて地域福祉の向上に努められています。

りです。

### 【民生委員の職務】

- 住民の生活状態を必要に応じて適切に把握する。
- 援助を必要とする人の状況に応じて、自立した日常生活を営むことができるように、生活に関する相談に応じ、助言や援助を行う。
- 支援を必要とする人が福祉サービスを適切に利用できるように、必要な情報の提供や援助を行う。
- 社会福祉を目的とする事業経営者や活動を行う人と密接に連携し、その事業などを支援する。
- 福祉事務所や関係行政機関の業務に協力する。

### 【児童委員の職務】

- 地域の児童と妊産婦の健康状態、生活状態を把握し、必要な援助を受けられるように相談や支援を行う。
- 福祉サービスが必要な子育て家庭や児童と福祉サービス提供者との連絡調整を行う。

### 【主任児童委員の役割】

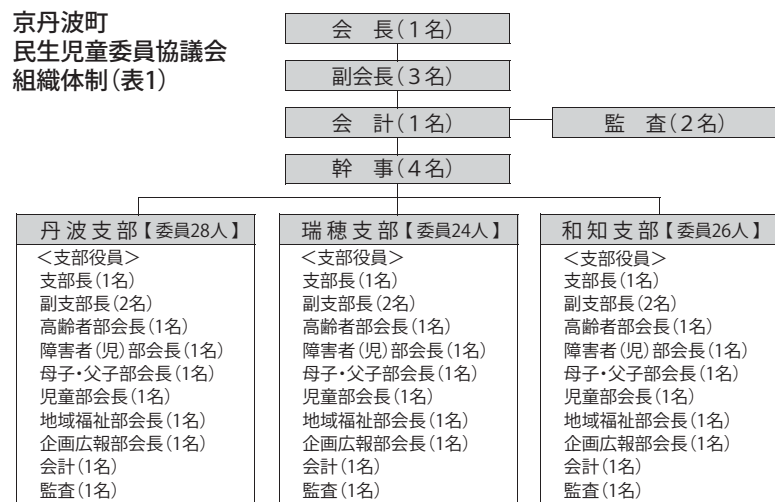
- 区域担当の民生・児童委員に対して援助や協力を行う。
- 児童相談所や保健所などの関係機関との連絡調整を図る。



## 京丹波 No.40 CONTENTS

- 2 特集① 民生児童委員
- 6 特集② 健診で健康チェック  
いつまでも健やかな生活を送るために
- 10 [シリーズ]まちづくりスクエア  
—「住民自治組織によるまちづくり」に向けて
- 12 Dr's Message いきいき健康術
- 13 平成21年4月1日から  
町営バス(瑞穂地区)の時刻表を一部改定します
- 14 フラッシュ TOWN NEWS 2009  
無火災の年を目指して  
—京丹波町消防団出初式  
非常時に備えて  
—役場と支所にAEDを設置  
地域の安心・安全を守るために  
—公用車による青色防犯バトロールを実施  
新成人の門出を祝って  
—京丹波町成人式  
仕事と私生活の両立で楽しく充実した毎日を  
—きらりフォーラム2009  
人権を守るために人権擁護委員へ委嘱状を伝達  
—人権擁護委員委嘱状伝達式
- 16 [まちの元気人②] 上林正幸さん





## ひとりで悩まずに ご相談ください

委員は、地域のみなさんからの相談に応じて、福祉制度の紹介や必要なサービスを利用するための援助を行いますので、次のようなことでお困りのときはご相談ください。

なお、委員には守秘義務がありますので、相談内容が他の人に知られることは絶対にありません。

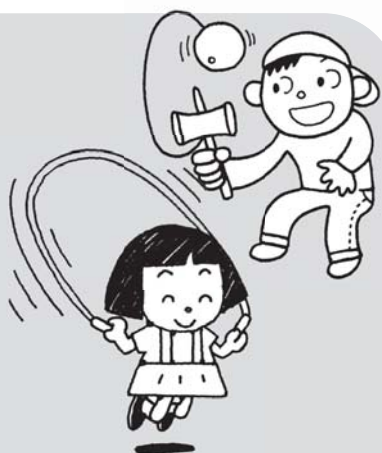
### 乳幼児の 子育て支援に 関する相談

妊娠中の心配や  
子育ての不安など



### 学齢児童などの 福祉に 関する相談

親子関係や仲間づくり、  
いじめ、非行、不登校、  
虐待など



### 高齢者福祉に 関する相談

一人暮らしや  
高齢者世帯での困りごと、  
介護に関することなど



### 障害者福祉に 関する相談

障害者福祉制度に  
関することなど



### その他の福祉に 関する相談

ドメスティック・バイオレンス、  
生活保護など



#### 問い合わせ先

地域の民生児童委員がわからない方は  
次までご連絡ください。

京丹波町民生児童委員協議会事務局

■瑞穂支部(町保健福祉課)

電話86—1800

■和知支部(和知地域保健福祉室)

電話84—0049

■丹波支部(丹波地域保健福祉室)

電話82—1800

## 各支部主体で 活動を展開

同協議会は、地域と連携した取り組みを展開するために、丹波・瑞穂・和知の三支部に分かれて活動されています。

各支部では、年度当初に作成した事業計画に基づいて、学校・施設訪問や研修会、一人暮らし高齢者の見守り活動などを実施し、地域のみなさんの生活を支援されています。

## 委員一丸となって 地域課題に 対応するために

委員は担当地域などを受け持つ活動されていますが、複雑多岐にわたる地域福祉の課題に対応するには、委員同士の連携や情報交換が重要になります。そのため、本町で活動されている委員七十八人で「京丹波町民生児童委員協議会」を組織し、年度ごとに基本方針や重点目標などを定めて、地域福祉の課題解決に向けた活動を展開されています。

なお、同協議会の組織体制は表1のとおりです。

## みなさんの身近な相談役としてわたしたちが活動しています



一人暮らし高齢者などに配布する梅干しをつくる瑞穂支部のみなさん



京丹波町民生児童委員協議会  
瑞穂支部長 谷垣 勇さん  
(同会会長・水原)

活動を通じて感じるのは「地域の絆」の大切さであり、昔から教えられてきた「向こう三軒両隣で助け合って」の精神でそれぞれが助け合い、支えあひながら生活することだと思います。核家族化で高齢者世帯が増加する中で、近所で声をかけ合って火災や犯罪などに備えることも大切です。

これからも、「広げよう地域に根ざした思いやり」をスローガンに、地域のみなさんの身近な相談相手として活動を続けていきたいと思えます。



非常時に備えて普通救命講習会を受講する丹波支部のみなさん



京丹波町民生児童委員協議会  
丹波支部長 熊谷 じゅん子さん  
(同会副会長・実勢)

みなさんに知っていただきたいのは、それぞれの健康状態や生活状況に応じて多種多様な福祉サービスが用意されている一方で、福祉制度はプライバシー保護の観点から「自己申告」が原則ということです。

地域のみなさんが福祉サービスを上手く利用していただくためにも、どんな悩みや心配事でもかまいませんので、地域の民生児童委員に相談していただきたいと思います。

なお、委員には守秘義務がありますのでお気軽にご相談ください。



先進地の老人福祉施設を視察訪問する和知支部のみなさん



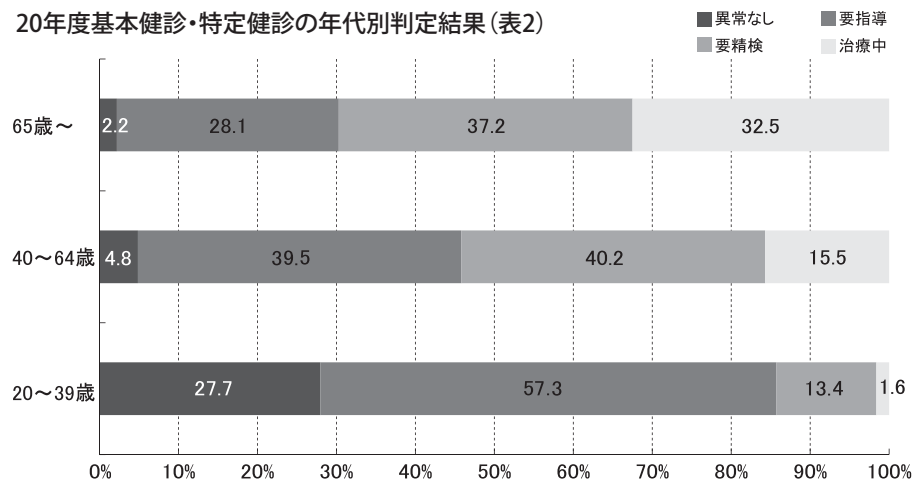
京丹波町民生児童委員協議会  
和知支部長 片山 勝紀さん  
(同会副会長・山野)

高齢化が進む地域の現状を見ると、悪質な振り込め詐欺や訪問販売などに地域のみなさんが巻き込まれないかが心配です。民生児童委員は、みなさんの身近な相談役として活動していますので、自身のことだけでなく、ご家族や地域内のことなど、お気軽にご相談ください。

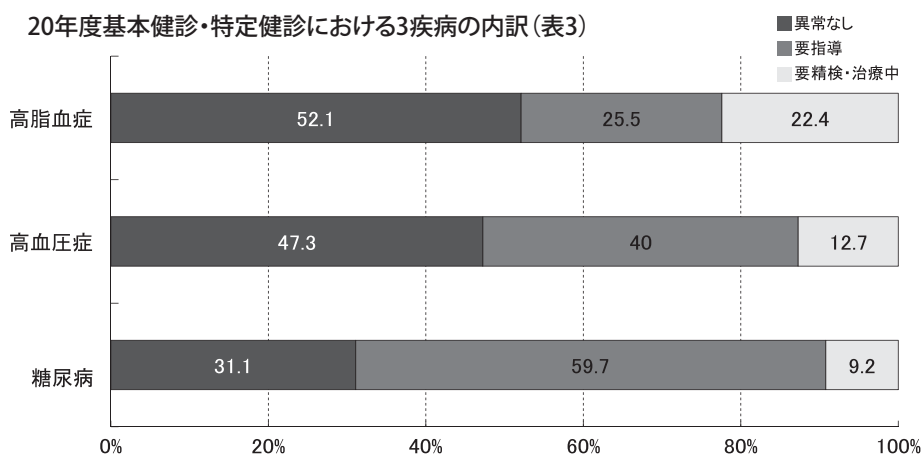
少子高齢化が進み、高齢者世帯や一人暮らし高齢者が増える中で、地域社会での孤立・孤独感をなくすために、地域のみなさんとのふれあいを大切にしながら活動をしています。



20年度基本健診・特定健診の年代別判定結果(表2)



20年度基本健診・特定健診における3疾病の内訳(表3)



がん検診の受診状況(表4)

	平成19年度			平成18年度		
	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率
胃がん検診	11,259	1,391	12.4%	11,336	1,486	13.1%
結核・肺がん検診	11,259	3,221	28.6%	11,336	3,438	30.3%
大腸がん検診	11,259	2,543	22.6%	11,336	2,647	23.4%
子宮頸がん検診	7,714	1,435	18.6%	7,765	1,482	19.1%
内、体がん検診受診者	—	3	—	—	4	—
乳がん検診	6,930	1,577	22.8%	6,975	1,601	23.0%
内、マンモグラフィ受診者	—	500	—	—	579	—
前立腺がん検診	3,682	976	26.5%	3,644	1,028	28.2%

### がん検診の受診状況

本町のがん検診の受診率は、全国や京都府平均よりも高いと言われていますが、一番高

すが、五〇%以上の方が「要指導」や「要精検・治療中」と判定されています。また、糖尿病においても七〇%近くの方が生活習慣の改善が必要と判定されていますので、体重のコントロールと併せて疾病予防に力を入れていく必要があります。(表3参照)

い受診率の結核・肺がん検診でも二八・六%、特に、胃がん検診は受診率が十二・四%となっています。また、女性特有の乳がん・子宮がんは、全国的に二十～三十代の発症も見られるので、全体的な受診率向上だけではなく、若年者の受診を増やす必要があります。死亡原因の上位を占めるがんの予防を考えると、医療機関や職場検診なども含め、必ず年に一度はがん検診を受診することが

### 歯科健診の結果から

二十歳以上の方を対象に実施している歯科健診は、全国目標である八十歳で二十本の歯を残そうという「8020運動」を目標に掲げています。しかし、本町の平成十九年度の健診結果では、歯の総数三十二本の

内、八十歳で二十本の歯を残せていない方が多くみられました。また、受診者の九割は治療が必要で、むしろ歯だけでなく、歯肉炎などの歯周疾患での要治療者が多い状況です。いつまでもおいしく食事をするためには、年に一度は歯科健診を受診し、口の中の健康を守ることがとても大切です。

## 特集②

# 健診で健康チェック

## いつまでも健やかな生活を送るために

健康で心豊かな生活を送ることは、だれもが願うことです。

いつまでも健やかな生活を送るためには、疾病の予防と早期発見が大切です。健康チェックのため、健(検)診は必ず定期的に受診しましょう。

この特集では、これまでの健診結果から見える町民のみなさんの健康状態をお知らせします。みなさんも自分の生活習慣を振り返って、健康づくりについて考えてみてください。

## 健診結果から見る本町の現状分析

京丹波町では、町民のみなさんの健康を守るために健康診査や各種がん検診を毎年実施し、病気の早期発見・早期治療に努めています。健診結果を日ごろの健康づくりに役立てていただくために、健診結果から分かる健康状態などについて見てみましょう。

### メタボリックシンドロームに重点をおいた「特定健診・特定保健指導」の導入

平成二十年度からは、国民健康保険をはじめとするすべての医療保険者に、四十七～四歳までの方を対象とする「特定健診・特定保健指導」の実施が義務付けられました。

特定健診は、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目し、従来の肥満度(BMI検査)に腹囲測定を加えた検査項目で実施しています。また、糖尿病などの生活習慣病の早期予防を目的として、健診と併せて栄養や運動などの保健指導も行っています。

腹囲測定の基準値は、男性八十五cm、女性九十cmです。検査結果では、男性で四二・六%、女性で二・八%の方が基準を上回っています。(表1参照)

### 特定健診と基本健診から見る健康状態や疾病状況の割合

平成二十年度の基本健診・特定健診は二千九百七十四人が受診されました。健診結果を年代別に見ると、年齢が上がるにつれて「異常なし」の判定が減少し、「要精密検

腹囲測定の検査結果(表1)

	男性						女性					
	85cm未満		85cm以上		小計(人)		90cm未満		90cm以上		小計(人)	
	人数	割合	人数	割合			人数	割合	人数	割合		
腹囲測定	373	57.4%	277	42.6%	650	716	77.2%	211	22.8%	927		

※腹囲測定は特定健診として実施し、40～74歳の方を対象としています。

「異常なし」が二七・七%に対して、運動や食事といった生活習慣の見直しが必要とされる「要指導」の方が五七・三%と二倍近くを占めており、若い世代からの健診の受診や早期の生活改善が必要なことがかがえまます。(表2参照)

特定健診では、動脈硬化を引き起こす疾患を早期に予防するために、糖尿病や高脂血症、高血圧症の基準値がやや厳しくなっています。そのため、「要指導」と判定される方の割合が増加しています。

高血圧症は従来から本町で多い疾患で



## 町民の健康づくり運動を推進 —京丹波町健康づくり推進協議会—

町では、町民のみなさんの健康づくりに関する施策を総合的、体系的に審議、企画するため、医療・福祉・保健・教育の関係者をはじめ、議会や区長会、老人クラブ、体育協会などの代表者による「京丹波町健康づくり推進協議会」を設置しています。

協議会では、町民の健康づくり推進に関するプランを毎年策定いただいています。

町では、このプランをもとに、あらゆる関係団体、機関が密接に連携し、町民主体の健康づくり運動を推進していきます。

いつまでも元気で明るく健康的な生活を送っていただくために、ぜひ各種保健事業を積極的にご活用ください。

### 平成21年度京丹波町健康づくり推進プランの概要

#### 1 町民の健康づくり運動の促進

##### (1) 町民主体の健康づくり

ヘルスプロモーションの考え方※を踏まえた「京丹波町健康プラン(仮称)」を策定し、町民の健康づくり運動の具体的な展開を図る。

※健康づくりと生活様式・生活環境の改善を一元化した発想が必要との考え方

##### (2) 健康づくりのための知識普及と意識啓発

乳幼児期、少年期、青年期、中高年期、高齢期など、ライフステージに応じた健康づくりの取り組みを促すため、家庭、地域、学校、職場などにおける健康教育の充実を図る。

町民の健康づくり実践に係る情報を収集・把握し、だれもが日常的に活用できる情報として発信する。

#### 2 疾病の予防と早期発見・早期対応の強化

##### (1) 健(検)診事業の充実と受診率の向上

生活習慣病予防やがん予防を重視した健(検)診を実施する中で、総合健診などを含め、ライフステージや地域特性に配慮した受診しやすい体制を充実させることにより、若年層や勤労者なども含めた幅広い受診需要にこたえる。

医療保険主体の特定健診・特定保健指導と連携を取りながら、生活習慣病の発症・重症化予防を具体的に進める。

##### (2) 健康相談・指導と健康教育の充実

各地区における健康相談において生活習慣改善のための個別保健指導を行うほか、必要に応じて訪問による個別相談・指導や個人と集団を対象にした健康づくりのための各種健康教育を実施し、今後は、新しい健診・指導の体系と整合を図る中で、これらの取り組みを充実させる。

### 健診結果を役立てるために

病気の発症や重症化を防ぐには、常に自分の体の状態を把握しておく必要があります。健診などを毎年受診し、日ごろからの予防に備えるとともに、受診結果に基づいて、必要な方は医療機関などで適切な治療を行ってください。

また、健診は受診するだけではなく、その結果を生活習慣の改善や適切な検査、治療へと生かしていくことが重要です。

結果報告会は、保健師が各地区を巡回して健診結果の説明などを行っています。自身の健診結果をしっかりと把握し、日常生活に役立てるためにもぜひご参加ください。

### 「自分の健康は自分で守る」の気持ち大切に

健康は誰かに守ってもらうものではなく、自分自身の心がけと日常生活での備えが大切です。

疾病や生活習慣病を改善された方からの体験談を踏まえたメッセージを紹介します。

#### 町内在住の65歳男性の方

メタボリックが気になっていたので、19年度の「生活習慣病予防教室」に参加しました。教室で話を聞くうちに、「これではダメだ。生活習慣を変えなくては」と思い、ウォーキングを始めました。食事でも栄養士に相談して、野菜はなるべく温野菜に、そして肉よりも魚中心に変えました。すると、体重と腹囲は少しずつ減っていき、教室参加時に71kg・95cmであったのが、一年後には63kg・90cmまで改善することができました。

ウォーキングも、妻が退職してからは2人で、最近では近所の方も一緒に3人で楽しく続けています。

みなさんも健診結果を参考に、日ごろからの予防に生かしてみたいかがでしょうか。

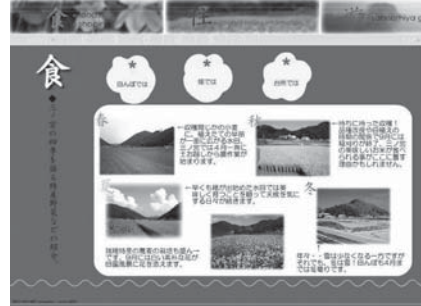
#### 町内在住の53歳女性の方

平成13年の大腸がん検診で直腸にポリープが見つかりました。精密検査の結果、直腸がんが手術が必要と診断され、わたしの脳裏には、「人工肛門」の四文字が浮かび、今後の生活に対する不安・恐怖が襲いかかりました。しかし、毎年検診を受診していたため、幸いがんは浅い部分で留まり、人工肛門を造設せずに済みました。あれから7年が経ち、大腸ファイバー検査を毎年受診していますが、再発もなく、元気に毎日を過ごしています。みなさん、「行く時間がないし、面倒くさい」と思わずに、検診はきちんと受けてください。自分の体は自分でしか守れませんから。





【ホームページアドレス】  
http://www.mc-net.jp/ho-net/sannomiya.html



三ノ宮地域振興会のホームページ。地域の食や名所、イベント情報などさまざまな情報を発信しています。



三ノ宮地域振興会検討委員会の様子。委員らは地域の現状や課題を掘り起こし、今後のより良い組織体制や活動のあり方を話し合っています。(三ノ宮基幹集落センター)



Interview 三ノ宮地域振興会会長 **神谷祥久さん**(質志)

## 内外の力を結集。

地域の活性化にとって「人が集まる」というのは欠かせない要素です。地域のみ皆さんの活動への参画意識をはぐくんでいくことはもちろん、都会で暮らす出身者の方々の参画も得るなど、内外の力を結集して元気な地域をつくっていければと思っています。

振興会では現在、真の住民自治組織を目指し、これからのより良い組織のあり方を検討しています。検討委員の一人、山田均さん(保井谷)は「地域の若い人や女性、イターン者など幅広い人や考えが集まる組織づくりが課題。また、ホームページを活用した都市への情報発信も、地域活性化の有効な手段として充実させていければ」と話します。このように、地域の幅広い人材が参画できる仕組みづくりや都

「地域の核」となる振興会づくりへ  
振興会の前会長として、城跡整備やふれあいまつりの開催など、これまで三ノ宮地域の活性化を引っ張ってきた田畑修一さん(水呑)は、「こうした活動は、三ノ宮地域の八集落の人びとが、振興会を通じて地域への思いを共有し、団結して地域全体の活性化を考えられたからこそ実現できたんでしょうね」と振り返り、「今後も地域振興は三ノ宮地域全体で取り組んでいくことが重要。そのために振興会は地域の核としての役割を果たしていく必要があります」と話してくれました。

市など外部とのネットワークづくりを通じて、「地域に住んでいる人も都会へ出ている出身者も、みんなを力合わせて、三ノ宮地域をにぎやかにしていきたいですね」と話す会長の神谷さん。三ノ宮地域の新しいまちづくりへ、夢が膨らみます。

## 地域資源の発掘から始まった。

きっかけは、戦国武将・山内一豊の生涯を描いたNHK大河ドラマ(平成十八年放映)「一豊の祖父・久豊」が居城したと伝わる三ノ宮城跡を整備し、「豊公ゆかりの地」を地域振興につなげていこうと、同振興会の役員らは手づくりの城跡整備に乗り出しました。近年、地域住民の交流やきずなが希薄になりつつあったことから、「三ノ宮城跡」という地域資源を掘り起こし、地域

コミュニティの拠点にしたい。会員たちのそんな思いが、三ノ宮地域の新しいまちづくりの原点となったのです。また、同じ時期、振興会でも用地交渉を行うなど積極的に動いてきた待望の町営住宅(三ノ宮団地)が完成。さらに旧J.Aの米蔵を拠点とした交流イベント「三ノ宮ふれあいまつり」が始まるなど、住民主体による新しいまちづくり機運が芽生えてきました。

三ノ宮小学校区内の八つの区で構成している三ノ宮地域振興会。各区長や地域在住の議員、財産区管理委員会、地域内の各種団体の代表者など約三十人が会員となって組織を運営しています。同振興会は昭和五十一年の設立以来、地域内の各集落要望の取りまとめや関係機関への陳情などを主な活動としてきましたが、平成十七年度に取り組んだ地域内の史跡整備を機に、三ノ宮地域全体を考えた地域活性化活動が始まりました。



三ノ宮小の裏山は、かつて三ノ宮城が築かれていた城山(写真右)。振興会会員たちは地域コミュニティの拠点として城山の整備に乗り出しました(写真左、平成17年11月撮影)。

# 三ノ宮 地域振興会

Series 5

## 地域資源発のまちづくり。

シリーズ「まちづくりスクエア」では、地方分権が進む中、全国的に注目を集めている「住民自治組織によるまちづくり」について考えます。今回は瑞穂地区の三ノ宮地域振興会を紹介。地域資源の掘り起こしから始まった地域主体の新しいまちづくりの、今後の展望に迫ります。



昨年の12月6日に行われた「第3回三ノ宮ふれあいまつり」。地域の子どもからお年寄りまで約250人が集い、創意と工夫をこらしたさまざまな催しを通じて世代間の交流やきずなを深めました。  
(上)城跡でのモニュメントづくり。  
(中)三ノ宮小児童の鼓笛演奏  
(下)米蔵の中で大根柱むき競争

### データ 三ノ宮地域振興会

【設立年】昭和51年  
【構成区】保井谷・粟野・妙楽寺・水呑・三ノ宮・質志・戸津川・猪鼻  
【人口・世帯数】992人・381世帯(平成20.4.1現在)  
【会員】各区長、地域出身の議員、三ノ宮財産区管理会、質志鐘乳洞保勝会、各種団体(公民館、老人会、消防団、女性会、PTA、三ノ宮地域農場づくり協議会、質志鐘乳洞協力会)の代表者  
【主な活動】●集落要望の集約、関係機関への請願・陳情 ●三ノ宮城跡や質志鐘乳洞を軸にした地域活性化 ●ふれあいまつりの開催など。  
【その他】現在、今後の組織のあり方について検討委員会を立ち上げて協議中。









# 無 火災の年を目指して

## 京丹波町消防団出初式

平成二十一年京丹波町消防団出初式が一月十一日、グリーンランドみずほのかがやき広場で開催され、消防団員や園部消防署員ら約七百人が出動しました。

式では、松原町長が「組織体制の再編や分団旗と活動服の統一配備により、着実に強固な基盤づくりが整ってきているので、今後より一層、一体感の醸成と土気の高揚を図っていただきたい」と式辞を述べた後、京都府知事代理の高嶋学企画政策部長らからの来賓祝辞や定例表彰・伝達式などが行われました。

また、森良行団長は「昨年は火災が多く発生した。今年は予防活動を強化し、無火災の年にしたい」と閉式の言葉を述べました。

表彰受賞者は次のみなさんです。(敬称略)

- 京都府消防協会会長表彰
  - 功績章 / 栗林英治(支団長)
  - ▼片山弘明(分団長)
  - ▼勤功章 / 川島勇人(分団長)
  - ▼樹山敏彦(同) ▼長澤誠(同)
  - ▼精進章 / 中野守(分団長)
  - ▼湊和之(同) ▼坂本信幸(同)
  - ▼橋本秀樹(同) ▼伊藤佳朋(同)
  - ▼精勤章 / 松山征義(分団長)
  - ▼稲葉真(同) ▼谷隆茂(副分団長)
  - ▼松本稔(同) ▼谷口清一(同)
  - ▼松村悟(同) ▼広瀬正明(同)
  - ▼竹内伸広(同) ▼川邊智行(同)
  - ▼杉本昌洋(同) ▼堀内浩二(同)
  - ▼谷垣年昭(同) ▼小谷誠之(同)
- 京丹波町長二十年勤続表彰
  - 丹波支団 / 田中誠一 ▼松山征義
  - ▼松本稔 ▼山田明義 ▼谷垣昭雄
  - ▼山本一也 ▼徳島俊行 ▼西垣吉裕
  - ▼村山智広 ▼田端泰三 ▼岡本浩輝
  - ▼福林康弘 ▼村山充 ▼村山直樹
  - ▼坂部俊光 ▼山崎哲夫 ▼溝口二也

- ▼篠塚義秋 ▼湊博之 ▼鈴木基司
  - ▼安田守
  - ▼瑞穂支団 / 伊藤佳朋 ▼上田真二
  - ▼竹村正司 ▼吉田薫 ▼山田和志
  - ▼細見浩樹 ▼森義巳 ▼坂本誠
  - ▼大西義弘 ▼橋野茂
  - ▼和知支団 / 山口雅敏 ▼藤本直之
  - ▼村山聡 ▼江本勝行 ▼大田耕一
  - ▼藤田寿 ▼野間善行 ▼梅原義幸
  - ▼正田浩之 ▼江本博司
- 京丹波町長表彰
- 丹波支団 / 清水裕貴 ▼太田康之
  - ▼森田浩史 ▼藤田哲也
  - ▼瑞穂支団 / 山下肇 ▼友金輝幸
  - ▼軽尾昌司 ▼水口光博
  - ▼和知支団 / 野間健夫 ▼山内利幸
  - ▼藤井直樹 ▼古宮幸憲 ▼堀久志
  - ▼大田耕一 ▼才村泰文 ▼藤井雅文
  - ▼木下信幸 ▼佐藤博己 ▼四方誠
  - ▼岡野誠 ▼森和好 ▼瀬野忠義
- 京丹波町消防団長表彰
- 丹波支団 / 藤本信之



出初式に出動する団員(グリーンランドみずほ・大朴)

# 非 常に備えて

## 役場と支所にAEDを設置

町はこのほど、急な心疾患の方への救命処置が行えるように、役場と瑞穂・和知支所にAED(自動体外式除細動器)を設置しました。

なお、本年度の職員研修において、全職員がAEDの使用方法を含めた「普通救命講習会」を受講し、有事の際に備えています。



設置されたAED(役場・蒲生)

# 地 域の安心・安全を

## 公用車による青色防犯パトロールを実施

町公用車への青色回転灯の装着がこのほど、京都府警察本部長から認められ、役場と瑞穂・和知支所、教育委員会に計四台のパトロールカーを配備しました。

町は、地域防犯を目指した取り組みを展開するために、青色回転灯の装着を認められた公用車を使用する際には回転灯を点灯するなどし、町内の巡回パトロールに努めています。



役場に配備された青色防犯パトロールカー

# 新 成人の門出を祝って

## 京丹波町成人式

平成二十一年京丹波町成人式が一月十二日、和知ふれあいセンターで開催され、新成人百五十四人(対象者数二百一十一人)が出席しました。

式では、松原町長が「何事にも前向きな気持ちで、周りの人々を支えることができる人になっていただきたい」と式辞を述べた後、岩崎正子教育委員長が新成人代表の森脇麻由良さん(井脇)に記念品を贈呈。続いて、新成人を代表して、瀬上莉加さん(下山)が「ふるさとを愛し、人を思いやる気持ちを大切にしながら、社会の中でさまざまな経験を積み、わたしたちの手で将来の京丹波町を支えていきます」と力強く誓いの言葉を述べました。



新成人にお花のプレゼントをする京丹波町子ども合唱団のみなさん

また、会場では、京丹波町子ども合唱団や和知太鼓保存会による演奏などが華を添え、出席者をはじめ集まった多くの人々で新成人の門出を祝いました。



力強く誓いの言葉を述べる瀬上さん(和知ふれあいセンター・本庄)

# 人 権を守るために人権擁護

## 委員へ委嘱状を伝達

人権擁護委員の委嘱状伝達式が一月十三日、役場町長室で行われました。

伝達式では、新任の和久田正八さん(長瀬)と再任の谷碩子さん(質美)に法務大臣からの委嘱状が伝達された後、これまで同委員として活動されてきた澤田幹生さん(下乙見)に感謝状が贈られました。

なお、委員の任期は、本年一月一日から三年です。



委嘱状の交付を受ける和久田さん(左)と谷さん(役場町長室・蒲生)

# 仕 事と私生活の両立で楽しく充実した毎日を

## きらりフォーラム二〇〇九

町と京丹波きらりネットワークの会が主催する「きらりフォーラム二〇〇九」が一月十七日、道の駅「和」道路情報センターの伝統芸能常設館で開かれ、五十六人が参加しました。

フォーラムで同会会員らは、「職場における男女共同参画」と題し、パワーハラスメントや女性が働くことについて、手作りの寸劇を披露しました。続いて、テレビやラジオなどで幅広く活躍されている株式会社もと代表取締役・正木ゆきさんが、「元気資産百億の女が語る

正木流ワークライフ・バランス」と題し、五人の子どもの子育てや仕事など、自身の体験について話されました。

\*ワークライフ・バランス(仕事と生活の調和)：働く人が仕事上の責任を果たすために仕事以外の生活(家事、育児、地域活動、自己啓発など)に取り組みなくなるのではなく、両者を実現できる状態のこと。

\*パワーハラスメント：職務権限などの力を利用して行う嫌がらせやいじめ。



これまでの経験を踏まえて講演される正木さん(道の駅「和」道路情報センター・坂原)

わたしたちの町	
人口	17,169(-19)
男	8,122(-12)
女	9,047(-7)
世帯数	6,494(+2)
2月1日現在 / ( )は前月比	



## まちの元氣人

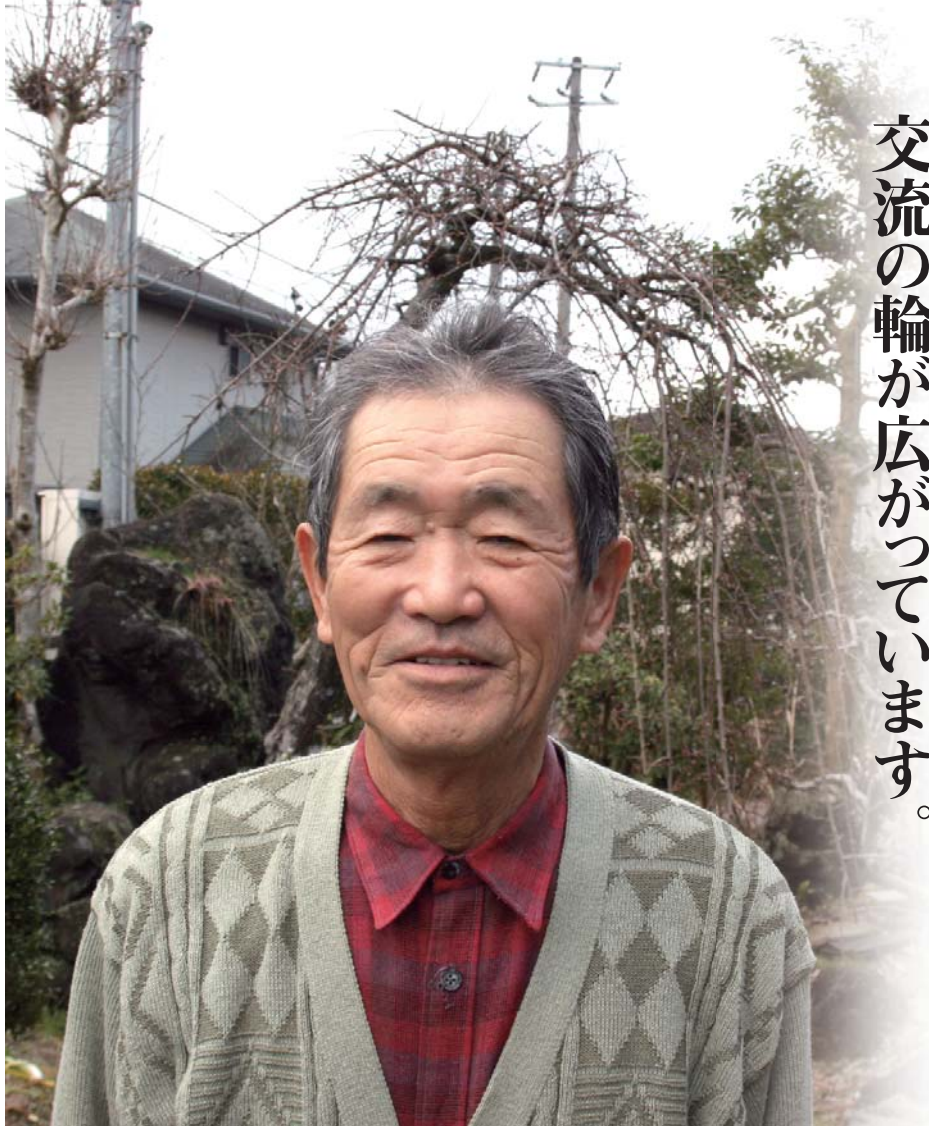
京都府老人クラブ連合会会長表彰を受賞

## 上林 正幸さん (75歳) 下山

かんばやし まさゆき

「思いやりの気持ち」で

交流の輪が広がっています。



「わたしが福寿会の会長を十二年間も続けられたのは、役員や会員のみなさんに支えられてきたからです」と話すのは、昨秋に京都府老人クラブ連合会会長表彰を受賞された上林正幸さん。

上林さんは、下山グリーンハイツ区の六十歳以上の方で組織されている「福寿会」の会長を平成八年四月から務められるなど、多年にわたり会の育成と発展に貢献された功績が認められ、同表彰を受賞されました。

「会長に就任したときは、組織はあっても活動をしていない状態だったので、『共存共栄共助』の理念のもとにさまざまなことに取り組んできました」と上林さん。同会では、地域の美化活動や自治会主催の夏祭りへのバザー出店をはじめ、「地域子ども安全見守り隊」を組織し、下山小学校に通う地元の児童らが集団下校時に犯罪などに巻き込まれないように、見守り活動を実施されています。

「宇治市で発生した児童殺害事件を契機に、地域防犯を旨として自主的に活動を始めました。活動を通じて地域の子どもたちと交流することができずし、会員同士や地域との連携も図れるので長く続けることができますよ」と上林さん。見守り活動は、教育委員会や学校、警察などと連携しながら、水曜日以外の集団下校時に毎日行われているので、会員の大きな負担にならないように三人体制で順番を決めて実施されています。

「わたしたちが子どもたちを見守るだけではなく、同じ場所です毎日活動を続けているわたしたちを、地域のみなさんや子どもたちが見守ってくれているんですよ」と上林さん。また、「活動によって地域内に思いやりの気持ちが伝わり、世代を超えた交流の輪が広がっています。わたしたち高齢者も積極的に参加することで健康の維持に努められるので、これからも続けていきたいですね」との思いも話されました。

これからの抱負を聞くと、「福寿会の歴史を刻んだ記念誌を発行するように計画しています。地域とともに歩んできた歴史を振り返りながら、これからも地域のみなさんと連携した活動をしていきたいですね」と笑顔で話す上林さん。下山小の集団下校時には、子どもたちを見守る福寿会のみなさんの姿があります。

## 編集後記

今回は、「文化財防火第一の放水訓練」の写真を表紙に掲載しました。

この日は天候に恵まれ青空が広がりましたが、気温は氷点下で真冬の厳しい寒さの中での訓練となりました。ホースラインが完成し、いざ放水が始まると、筒先の先に美しい「虹」の姿が。一瞬の出来事でしたが、そのときの様子を写真に収めることができましたので表紙写真に使いました。これからも思いがけない瞬間が撮影できるように取材に励んでいきます。(K)